

# 授業の流れ(一例)

Z会東大進学教室メテウスの授業は、各単元や内容を学習するのに一番効果的な学習を行うため、決まった授業形式というのはありません。ここでは、ある日の授業の流れをご紹介します。

## ある日の授業の流れ

英語	授業開始	10分	20分	30分	40分	50分	60分	70分	80分	90分	100分	110分	120分(授業終了)
【学習内容 be 動詞と一般動詞】	<b>導入</b>	基本例文テストで前回の学習内容の定着度をチェックします。また、テキストの例文などを用いた音読練習を通して基本事項を直感的に理解します。		<b>要点の確認</b>		<b>問題演習</b>		<b>答え合わせ・他者との共有</b>		<b>解説</b>		<b>振り返り</b>	
		●要点解説 ●確認問題 を通して文法の理解を深めます。英文を一つずつ丁寧に分析し、語順や意味の違いなどを理解します。		知識の確認と定着のため、授業内で演習を行います。「なんとなく」や「勘」ではなく、「なぜその答えになるのか」を考える習慣をつくります。演習中は担当講師が適宜フォローします。		ペアワークやグループワークで演習問題の答え合わせと考え方の共有を行います。「なぜその答えになったのか」を互いに説明し合い、納得したうえで解答を導くことを重視します。		解答を共有しながら、理解の不十分な点を確認し、重要なポイントの理解を深めます。		今回の授業を自分自身で、またクラスメイトの力を借りて振り返ります。家庭での復習や次回以降の授業での取り組みのヒントを得ます。			

数学	授業開始	10分	20分	30分	40分	50分	60分	70分	80分	90分	100分	110分	120分(授業終了)
【学習内容 2次関数】	<b>導入</b>	今回の学習にあたって、授業に必要な基本事項の習得ができていないかを確認します。		<b>要点の確認(例題)</b>		<b>問題演習</b>		<b>解説</b>		<b>他者との共有</b>		<b>振り返り</b>	
		基本事項を踏まえた上で、公式・定理・例題などを確認していきます。		例題を踏まえた問題の定着をはかって		題演習を通して、知識を定着させていきます。		自分の解答と照らし合わせて、理解できていないところを中心に確認していきます。		他者と考え方を共有します。他者との学び合い(主にペアワーク)の中で、題意を適切に把握する理解力・自分の理解を他者に提示する表現力などを高めていきます。		講師が今回の復習ポイントを示します。最後に、その日の授業の振り返りを行い(振り返りシートの記入など)、次の回の授業につなげていきます。	

国語	授業開始	10分	20分	30分	40分	50分	60分	70分	80分	90分	100分	110分	120分(授業終了)
【学習内容 評論文】	<b>課題文解説</b>	担当講師による ●課題文のポイント説明 ●背景知識の解説 ●知識事項の補足などを通じて、課題文の理解を深めます。		<b>問題演習</b>		<b>他者との共有</b>		<b>まとめ・振り返り</b>					
		ポイント解説の内容をもとに課題文を読み解きながら、それぞれが各回の問題に取り組めます。個々の思考力を最大限に高め、次のワークに備えます。		●作成した解答など、課題文の内の思考を刺激し演習の時点では糸口が見つかる		の共有 ●講師による発問内容を掘り下げ、探究するワークを行います。自らの考えを発表し、互い合うことで、個別の問題導き出せなかった解答の糸口が見つかるでしょう。		●講師による講評 ●個々の解答の見直しを行います。ワークで見つけた糸口を整理し直し、再構築して表現することで、自ら考え方を創造できる力を引き出します。					

●総合の授業の流れは、P.15をご覧ください。

# 英語

世界に通用する  
英語力を養成します。

週1回×120分授業  
(全37回)

## 一生使える「型」の習得

「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能を最大限に活用し、**大学受験が終わっても一生使える英語の基礎を身につけます。**まず文法などの知識の理解と習得をはかり、ペアワーク、グループワークなどの実践的なコミュニケーション活動を通じて自分の伝えたいことを適切にアウトプットできる力を育てます。

中1英語 1EJS 中2英語 2EJS 中3英語 3EJS

中1NEW TREASURE対応英語 1ENTS 中2NEW TREASURE対応英語 2ENTS

※NEW TREASURE対応英語の詳細はP.12をご覧ください。



## ●カリキュラム

	本科1期(4月~7月)	本科2期(9月~12月)	本科3期(1月~3月)
中1	be動詞、一般動詞(3人称単数現在を含む)、 複数形、人称代名詞、助動詞(can)など	現在進行形、過去形、 助動詞(may, will, must, have to)など	文の要素(文型入門)、 目的語、比較など
中2	不定詞、動名詞、文型、受動態など	現在完了、分詞の形容詞用法、 関係代名詞、間接疑問文など	知覚動詞・使役動詞、語法、形容詞、 副詞、比較表現
中3	時制、副詞節・名詞節、助動詞応用、 仮定法、関係詞、時制の一致	不定詞・動名詞応用、分詞、原形不定詞、 分詞構文、Itを含む構文、接続詞、否定表現、 倒置表現、強調表現	句と節、名詞、代名詞、 冠詞、総合演習

※横浜教室では、中3講座のみクラス授業を開講します。中1・中2生はZ会個別指導教室にてZ会東大進学教室メテウスのカリキュラム学習が受講可能です。

## ●学習サイクル

教室での授業→家庭学習→教室での授業→家庭学習……のサイクルにより、授業でも家庭でも自主的に、  
学ぶ習慣が自然と身につくように継続的に学習する環境・機会をつくります。



## 受講生の声

英語のニュアンスの違いなどを  
わかりやすく説明してくれて、理  
解しやすいです。

日本語の文から英文に直すこと  
がうまくなりました!

自分で例文を作ってみることに  
よって、とても分かりやすくなり、  
単語なども覚えやすくなった。

自分の思っている事や話したい  
事を、英語で表せるようになりました!!

## 発刊元のZ会が開講している公認講座

中1・中2生対象

# NEW TREASURE 対応英語

Z会が発刊している検定外教科書「NEW TREASURE」のSTAGE1(中1生対象)、  
STAGE2(中2生対象)に対応しています。Lesson修了後には「Lessonテスト」を行い、毎  
回授業で配付する「復習シート」とともに、担当講師が採点・添削を行います。「中1英語」  
「中2英語」同様に、ペアワークやグループワークなどの実践の場を通して学校の勉強  
の対策はもちろんのこと、将来の大学入試さらにはその先に向けて必要な力を鍛えます。

※授業は、Z会東大進学教室メテウスオリジナルテキストを使用します。

## NEW TREASURE 対応英語の特長

- 1 テキストに出てくる単語・英文の約8割が『NEW TREASURE』に対応!
- 2 語彙・文法・英作文の3本柱を中心に学習



## ●NEW TREASURE 対応英語カリキュラム

週1回×120分授業(全37回)

	本科1期(4月~7月)	本科2期(9月~12月)	本科3期(1月~3月)
中1	STAGE 1 Lesson 1~Lesson 5	STAGE 1 Lesson 8~Lesson 12	STAGE 1 Lesson 13~Lesson 14、読解演習
中2	STAGE 2 Lesson 1~Lesson 5	STAGE 2 Lesson 6~Lesson 10	STAGE 2 Lesson 11~Lesson 12、読解演習

※「中1NEW TREASURE対応英語」のSTAGE1 Lesson6・Lesson7は夏期講習で学習します。  
※中3時はZ会東大進学教室メテウス本科の中3英語に継続します。

大学入試センターの『大学入試英語成績提供システム』(2020年度から)  
への参加要件をすべて満たした

## ケンブリッジ英語検定 で4技能を測定できます。

Z会東大進学教室メテウスの英語は、従来重視さ  
れてきた「読む」「書く」能力だけでなく、「聞く」「話す」  
能力も加えた「4技能」を高める授業内容です。その  
4技能の能力を測るために、100年以上の歴史がある  
英語力テストCambridge English Qualifications  
(以下、ケンブリッジ英語検定)を希望者は受験する  
ことができます。

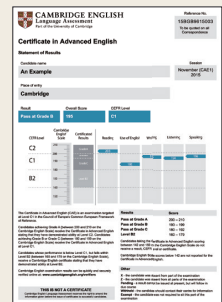
ケンブリッジ英語検定は、イギリスの名門・ケン  
ブリッジ大学の一部門で非営利組織のケンブリッジ大学  
英語検定機構(Cambridge Assessment English)  
が開発・実施している検定試験であり、ヨーロッパを  
中心に、トップ大学の入学資格を認定する試験とし  
て、また、政府などの公的機関や企業において英語

力を証明する試験として、世界130か国以上で年間  
500万人以上が受験しています。そのスピーキング  
試験は、受験者2名がペアで受ける対面式テストの  
形式を取っており、受験者同士のその場でのやり取  
りを評価の対象に含めるなど、単に英語が発話でき  
るだけでなく、英語でコミュニケーションできること  
に力点を置いているところに大きな特長があります。

今後の学習指導要領の方向性や、東京大学をはじ  
めとした各大学が求めるアカデミック英語の素地と  
して、ケンブリッジ英語検定を受験していただくこと  
で、大学入試を突破することにとどまらない、したがっ  
て模試の点数や偏差値だけでは見えにくい、本質的  
な英語力の伸長を測ります。



## 結果ステートメント



出所:ケンブリッジ大学英語検定  
機構日本支部作成のパンフ  
レットより引用

# 数学

暗記やテクニックに頼らない  
論理的思考力を養成します。

週1回×120分授業  
(全37回)

## 「説明できる」まで理解する

講師からの教授による基本事項の習得(インプット)に重点を置きながらも、**受講生自身で理解できた内容を講師や他の受講生に説明できること(アウトプット)**を意識した授業で、解答の道筋を自らつくる  
ことができるようになります。

中1 数学 1MJS 中2 数学 2MJS 中3 数学 3MJS

※中1生講座は、よりハイレベルな内容(予習前提)を授業で扱う「中1選抜東大・医学部数学 1MJSS(選抜制)」を開講します。詳細はお問い合わせください。



### ●カリキュラム

	本科1期(4月~7月)	本科2期(9月~12月)	本科3期(1月~3月)
中1	正の数・負の数、文字と式、 平面図形、空間図形、1次方程式	1次不等式、比例と反比例、 式の計算、合同と証明	合同と証明、連立方程式
中2	1次関数、式の展開・因数分解、相似	平方根、2次方程式、 2乗に比例する関数、円とその性質	図形の計量、図形総合演習、 中学数学のまとめ
中3	数と式、2次関数、 集合と論理	場合の数、確率、 二項定理、三角比	整数、式と証明、 複素数と高次方程式

※横浜教室では、中3講座のみクラス授業を開講します。中1・中2生はZ会個別指導教室にてZ会東大進学教室メテウスのカリキュラム学習が受講可能です。

### ●学習サイクル

教室での授業→家庭学習→教室での授業→家庭学習……のサイクルにより、授業でも家庭でも自主的に、  
学ぶ習慣が自然と身につくように継続的に学習する環境・機会をつくります。

家庭学習(授業準備)

教室での授業

家庭学習(復習・授業準備)

#### 映像授業による知識定着のフォロー

**1年分のカリキュラムの映像授業を自宅ですべて見ることができます。**  
おもに授業後に学習した単元の映像を見ることで、知識の定着をはかり次回以降の授業につなげていきます。



授業の流れは、  
P.9~10を  
ご覧ください。

#### 提出課題による丁寧な添削指導

授業ごとに家庭学習用の  
**添削課題**を課します。添削課題の答えは**担当講師が自ら採点・添削指導します。**



### 受講生の声

わかりにくいところを丁寧に解説してくれたり、公式をしっかり教えてくれるので、覚えやすいです。

数学に苦手意識をもっていました  
が、この授業を受けてから数学が好きになりました。先生のおかげです。

習った途中経過の書き方を  
学校のテストで実際に使えたので良かったです。

この授業を受けて計算の速度が速くなりました。

# 国語

小手先の技術では到達しえない  
言葉の力を養成します。

中1・中2  
各ターム2回×  
120分授業  
(全16回)

中3  
週1回×  
120分授業  
(全37回)

## 探究から創造へ

意見交換や現代語訳作成といった、課題文を掘り下げ、探究する  
ワークを通じて、個々の理解にとどまらない高い思考力・表現力を  
養成します。**授業内の互いへの働きかけが、自ら考え方を創造できる力を引き出します。**

中1 国語 1LJS 中2 国語 2LJS 中3 国語 3LJS



### ●カリキュラム

	本科1期(4月~7月)	本科2期(9月~12月)	本科3期(1月~3月)
中1	現代文、古文	現代文、古文	現代文、古文
中2	現代文、古文	現代文、古文	現代文、古文
中3	現代文、古文	現代文、古文	現代文、古文

課題文は毎回異なります。  
評論文・小説・古文の中から幅広いテーマを扱いますので、国語の基礎力を養うとともに、知識と教養を身につけ、社会への関心を高める学習ができます。

### ●学習サイクル

教室での授業→家庭学習→教室での授業→家庭学習……のサイクルにより、授業でも家庭でも自主的に、  
学ぶ習慣が自然と身につくように継続的に学習する環境・機会をつくります。

教室での授業

家庭学習(復習)

授業の流れは、  
P.9~10を  
ご覧ください。

#### 映像授業による知識定着のフォロー

**1年分のカリキュラムの映像授業を自宅ですべて見ることができます。**  
授業後の復習に利用することで、重要事項を定着させた状態で次の授業を迎えられます。



#### 提出課題による丁寧な添削指導

現代文を扱う回は、家庭学習用の  
**添削課題**を課します。添削課題の答えは**担当講師が自ら採点・添削指導します。**



### 受講生の声

毎回、自分に足りていない所がどこか知ることができるので、成長を実感できます。

長文問題が出てきても、自分でどこか知ることができるので、解き方を導く事ができるようになりました。

問題はやや難しいですが、授業の後は毎回すっきりし、納得して終わられています。

板書の内容がとてもわかりやすいし、解答も丁寧に直してくれるので、とても良いです。

# 総合

教科の枠組みを超えて、新大学入試に向けた「思考力・判断力・表現力」を育みます。

各ターム2回×120分授業  
(全16回)

## 多面的アプローチ力を培う

現実に世の中で起きている問題は、特定の分野の知見だけで解決できる単純なものではなく、解決には多様なアプローチが必要なものばかりです。変化する社会の中で、必要とされる教育や入試制度も変わりつつある今だからこそ、教科の枠組みを超えて出題する「本当に考える価値のある問題」に取り組めます。「グループワーク」を通じて主体的に自分の意見を述べ、また他者の意見も材料にしながらかん考を深め、論理的な思考力・表現力・判断力を養成します。

中1中2 総合

SS



## カリキュラム

人文・社会・自然の3分野の課題に取り組み、それぞれの分野の発想力を学ぶことによって、1つの問題を様々な観点から考えられる力を鍛えます。

※通信教育の「総合」と共通の教材を使用します。



### 出題テーマ例

#### 人文分野

- ◎「常識」のあり方を見直す
- ◎「表現の自由」の現実について考える

#### 社会分野

- ◎スポーツと生活の関係について考える
- ◎「働くこと」について考える

#### 自然分野

- ◎「もののかたち」の理由を探る
- ◎疑問をもち、仮説を立て、実験する、という科学の方法論を学ぶ

## ある日の授業の流れ(一例)

Z会東大進学教室メテウスの授業は、各単元や内容を学習するのに一番効果的な学習を行うため、決まった授業形式というはありません。ここでは、ある日の授業の流れをご紹介します。

授業時間 120分

開始	25分	45分	65分	85分	100分	120分 終了
	<b>テーマ説明</b> 与えられたテーマについて講師がポイント解説・ヒントの提示を行います。	<b>個人ワーク</b> 一人ひとりの作業時間です。	<b>グループワーク</b> それぞれの意見を持ち寄り議論を行う時間です。	<b>発表</b> 自らの属するグループ以外の意見を聞くことで、さらに思考を深めます。	<b>振り返り</b> 本日の内容や自らの思考プロセスを振り返るワークを通じて定着をはかります。	<b>講評</b> 講師の講評で復習のポイントを学びます。

### 提出課題による丁寧な添削指導

授業ごとに家庭学習用の添削課題を課します。添削課題の答えは担当講師が自ら採点・添削指導します。

## 受講生の声

普段感じられないことも感じられ、物事を深く考えられるので、有意義な時間です。

色々な考え方ができるようになり、楽しい。

頭の体操になるような興味深い問題が多いので楽しめる。

お互いの意見に付け足しあったり、反論しあったりすることができたのが楽しかったです。